

# 2017(平成29)年度 第63回全国青年問題研究集会 開催要項

～共感・共有・共同～

2017年8月にオープンした、3代目となる日本青年館で行う初めての全国青年問題研究集会です。地域や暮らしの問題、そして一年間の実践をレポートとして綴り、持ち寄り、ひとりの問題をみんなの問題として考える場です。笑ったり泣いたりもしながら語り合うことを通して、複雑に絡み合った問題を少しでもほどこき、解決のための糸口を見いだしていく時間です。

忙しい日々のなかで、全国の青年たちがそれぞれの地域に関わり、様々な思いや苦勞・喜びの中で生み出してきた実践活動をひとつでも多く集約し、全国の仲間と共感・共有し学び合うことを期待し、第63回全国青年問題研究集会を開催します。

1. 期 日 2018(平成30)年3月2日(金)～4日(日) (2泊3日)
2. 会 場 日本青年館  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番1号
3. 主 催 日本青年団協議会、一般財団法人日本青年館
4. 後 援 文部科学省、公益財団法人あしたの日本を創る協会、日本社会教育学会、  
社会教育推進全国協議会、NHK(以上申請中)
5. 参加経費 ○参加費 6,480円(学生3,240円)  
○宿泊費 7,560円  
○食費 昼食1,080円(お弁当)  
○交流会費 5,000円  
※すべて税込になります。
6. 提出物及び申込方法  
(1) 日本青年団協議会正会員の推薦を受けた方  
道府県青年団を通して、下記を添えてお申し込みください。  
道府県別一括申込書(所定)  
個人プロフィール票(所定)  
レポート(所定)  
(2) 日本青年団協議会の推薦を受けた方 など ※年齢は問いません。  
所定の個人プロフィール票とレポートを添えて、  
日本青年団協議会に直接申し込んでください。
7. 申込締切 2018(平成30)年2月8日(木) 必着(レポート提出含む)
8. 実践報告  
青年団をはじめ様々な青年集団の実践の中から特徴的な取り組みを抽出し、報告いただきます。  
(想定報告案)  
・青年団が再生した実践  
・全国青年団種まき運動の実践  
・全国地域青年実践大賞に応募した実践 などから選定  
※Rebornこころのふるさとフォーラムとの併催となります。
9. ワークショップ

## 10. 基調講演

テーマ「今、あらためて考える。地域とは何か」

講師：結城 登美雄 氏

昭和20年旧満州（中国東北部）生まれ。山形大学卒業後、広告デザイン業界に入る。15年にわたり東北の農山漁村をフィールドワークしながら、住民を主体にした地域づくりの手法「地元学」を提唱。出版界、演劇界、学者、研究者、建築家などとネットワークしながら、宮城県内及び東北各地で地域おこしの活動を行っている。宮城県宮崎町（現加美町）の「食の文化祭」や、北上町（現石巻市）での「宮城食育の里づくり」ではアドバイザーを務め、旧鳴子町「鳴子の米プロジェクト」の総合プロデューサーを務めた。「増刊現代農業」「グラフィケーション」など、雑誌や新聞を中心に農と地域づくりについて多数執筆中。

## 11. 分科会の構成

この集会はテーマ別に構成した分科会が中心となります。分科会には司会者と助言者がいます。司会者は日青協執行部役員、正会員代表者、（一財）日本青年館職員などが務め、参加者によるスムーズな討議ができるよう進行します。助言者は青年団OB・OGをはじめ、地域活動の専門家や研究者が務め、参加者が抱える課題や討議に対する助言を行います。

分科会テーマは10テーマ程度で、ひとつの分科会に5～6名程度、それ以上となる場合は同一テーマでの分割を想定しています。想定するにあたり、従来の傾向により下記のようにあらかじめ内容を想定し、提出されたレポートの内容と参加者の希望をもとに編成することを原則とします。

### 第1部門 リーダーとして

1. 道府県団のリーダーとして
2. 道府県団のリーダーになる前に
3. 市町村団のリーダーとして
4. 道府県団の役割

### 第2部門 地域活動から学ぶ

1. 仲間づくり
2. 地域活動とのつながり
3. 地域活動の意義

### 第3部門 自分×社会

1. 仕事と活動の両立
2. 恋愛・家庭と活動の両立
3. 災害と向き合う

## 12. レポート

分科会を充実させるために、自身が抱えている課題や地域での活動の様子に加え、その時に感じたことや仲間の言葉、活動の成果などを具体的に書いて下さい。また、社会問題の評論や仲間の中傷ではなく、あなた自身がこの1年の活動に対して「どんな目的を持ち、どのような実践を行った結果、どんな成果や課題があったのか」を振り返りながら所定の様式のレポートにまとめてください。提出の際は下記の点にご注意ください。

①提出するレポートをそのままレポート集の版下原稿にするため、E-mailで送付してください。

FAXでは受け付けられません。

②レポートは必ず所定の様式にパソコンなどで入力したものを送付してください。所定の様式以外は受け付けられません。「タイトル」「都道府県名」「氏名」「年齢」「職業」「所属団体名」「活動年数」を冒頭に必ず記載してください。

③原稿はA4サイズ1枚から2枚程度とします。

④締め切りまでにレポート提出のない方は、分科会では原則オブザーバーとなります。分科会の中での発言の可否は、分科会の中での判断となります。

### 13. 交通手段

#### 【電車でお越しの場合】

- ①東京メトロ銀座線 外苑前駅3番出口 徒歩5分
- ②都営大江戸線 国立競技場駅A2番出口 徒歩10分
- ③中央線・総武線（各停）千駄ヶ谷駅 徒歩12分
- ④中央線・総武線（各停）信濃町駅 徒歩12分

#### 【飛行機でお越しの場合】

羽田空港より

- ①京急空港線 エアポート快特 都営浅草線新橋駅25分→  
東京メトロ銀座線新橋駅乗換→外苑前駅5分
- ②東京モノレール 羽田空港→浜松町21分→  
JR新橋駅2分→東京メトロ銀座線新橋駅乗換→外苑前駅5分



14. 日程

時間	3月2日(金)	3月3日(土)	3月4日(日)	
9:00		分科会①	分科会③	
10:00				
11:00		基調講演		
12:00				
13:00		司会者学習会		昼食・休憩
14:00				
15:00	司会者・助言者打合せ	分科会②	全国地域青年実践大賞 表彰式	
16:00				
17:00	実践報告	休憩	エンディング	
18:00				
19:00	夕食・休憩	夕食交流会		
20:00				
21:00	ワークショップ	夕食交流会		
	フリースペース	フリースペース		

※プログラムは都合により変更になる場合があります。

※この事業は「Rebornこころのふるさとフォーラム」と同時開催します。

15. お申込・お問い合わせ

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番1号(日本青年館内)

日本青年団協議会 組織部(担当: 棚田、高嶋、鈴木)

TEL: 03-6452-9025 FAX: 03-6452-9026 Email: soshiki\_kyosen@dan.or.jp